



シルバー人材センターシンボルマーク

このマークは、全国のシルバー人材センターで働く高齢者が広く連携し、共に働き、共に助け合っていくことをめざして作成したものです。

デザインは、シルバー（Silver）の「S」とセンター（Center）の「C」で飛翔する鳥と、動き出す人の姿を表現しています。

# シルバー安曇野

第 62 号

令和 3 年 1 月 1 日

発行

公益社団法人

安曇野シルバー人材センター

住所

安曇野市豊科 4155-1

TEL 0263-72-5800

FAX 0263-73-6484



高齢者活躍人材育成確保事業「庭木の手入れ講座」講師より指導を受ける参加者の皆さん

## 新年のご挨拶

理事長 田野尻 正



新しい年を迎え、事務局役職員が一体となり、心新たに会員の皆様が、健康で生き生きと活動できるよう、より良い環境づくりに努めてまいります。

◆小さな発想の転換、気持ちの切り替えで、「コロナ禍を過ごす」。

コロナ禍における不安や思い煩いを、「シルバー会員としての活動が、地域社会に大きく貢献している」という誇りに置き換え、新たな勇気と活力を抱き、穏やかな気持ちで令和3年を過ごして頂きたいと思えます。心が落ち込んだ時、美しい北アルプスを眺め、ここで暮らせるというそれだけで、人生の豊かさを感じ、心を元気にさせてもらえるような気がします。

◆シルバー人材センターの役割・期待は大きくなっている。

超高齢社会の到来で、医療・介護・福祉等の分野で人手不足が生じ、解決すべき課題が山積していると言われていきます。センターも、高齢者の就労提供、中高年齢層の女性の就労支援を進めるなどにより、貢献し、地域の期待に応えていかなければなりません。この為には「**会員の拡大**」と「**就業機会の確保**」に向けた、より積極的な取り組みが必要と考えます。

◆会員拡大「シルバー時代をちょっとした日々の変化でゴールドに」

働くことで体を動かし、社会とつながり・仲間と触れ合うことは、健康で長生きできる要因のようです。会員の皆様には**身近な方、配偶者（奥様・旦那様）**に是非ともお声掛けを頂き、新しい仲間として、共に温かい社会づくりにご尽力されるようお願いいたします。

◆医療・介護・福祉等新たな職域の開拓や、空き家管理等従来からの事業を強化し、**高齢者に魅力ある、地域に頼りにされ、存在感ある安曇野シルバー人材センター**を目指してまいります。



# 新年のご挨拶

安曇野市長 宮澤 宗弘

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては健やかに新春をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。田野尻理事長をはじめ、役員並びに会員の皆様には、地域社会の活性化に大きくご貢献いただいておりますことを厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスの猛威に振り回され続けた一年でありました。貴センターの活動にも多大な影響があったこととご推察いたします。これからは「新しい生活様式」が常識となり、ウイルスの存在を意識しながら日常生活を送ることが求められておりますが、一日も早くこの事態が終息する日が来ることを願っております。会員の皆様におかれましては、必要な感染予防対策を講じつつ、健康管理には十分

ご留意いただき、引き続き活発な事業活動を望むものであります。人口減少が進む中、豊富な知識と経験を生かした高齢者の皆様

の活躍が一層期待されており、地域の支え手、経済の担い手としてシルバー人材センターの担う役割はより重要なものとなっております。安曇野市は、「健康長寿のまちづくり」を重点施策に掲げております。年齢にかかわらず一人ひとりが生きがいを感じて暮らせるよう、貴センターと連携を深めながら、健康増進、生きがい活動の充実、地域社会への貢献などの目的達成に向けて、今後も邁進して参ります。

結びに、安曇野シルバー人材センターのさらなる飛躍と、会員の皆様及びご家族のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

明けましておめでとうございます

本年もよろしく  
お願いいたします

地域から信頼される  
シルバー人材センターを目指します。  
みんなで「危険ゼロ」を  
目指します。

事	監																	理	専	副	理
務	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	事	務	理	事
局	事																	事	事	長	長
職	織	赤	小	山	矢	柴	田	青	那	日	竹	鳥	大	飯	田			事	事	長	長
員	田	澤	林	口	花	野	口	柳	須	下	原	羽	向	沼	野			事	事	長	長
一	洋	喜	和		公	一	一	等	卯	憲	徳	直	弘	常	尻			事	事	長	長
同	二	夫	子	登	勝	夫	夫		久	憲	治	樹	明	雄	正			事	事	長	長

新型コロナウイルス感染拡大の影響により  
請負契約額は前年度を約10%下回る

～県内シルバ－平均もほぼ同様～

令和2年度 事業実績（4月～10月）

4月から10月までの請負に係る契約額の実績は、3億4193万円で、対前年度比約10%減、金額で3604万円余の減少となりました。これは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、公共施設や飲食・宿泊施設等の休業や業務減少等に伴うものが大きな原因です。

一方派遣事業では、一昨年より「適正就業ガイドライン」に沿った就業を進めるため職員を1人配置し派遣への切り替えを進めており、対前年度比約74%増、金額で1081万円増と大きく伸びています。

会員数については、たまねぎ直売での会員拡大チラシ配布等各種広報活動を行いました。前年度に比べ9人減の906人となりました。

今後も、会員の皆様のご協力をお願いしながら、会員の増加と就業の機会の確保を図ってまいりますので、一層の支援をお願いします。

10月までの事業実績

区分	令和2年度 (10月末)	令和元年度 (10月末)	増減	対前年比	
会員数	906人	915人	△9人	99.0%	
請負	受注件数	3,119件	△326件	90.5%	
	契約金額	34,193万円	△3,604万円	90.5%	
	内訳	公共	6,350万円	△222万円	96.6%
		民間事業所	19,563万円	△3,226万円	85.8%
		一般家庭	8,280万円	△156万円	98.2%
派遣請求額	2,540万円	1,459万円	1,081万円	174.1%	

ボランティア活動実施

各地区におきまして今年度もシルバー人材センターの普及啓発促進月に合わせて、次のようにボランティア活動が行われました。

豊科 10月19日 28人

穂高 10月15日 31人

三郷 10月6日 36人

堀金 10月28日 26人

明科 10月21日 19人

ご参加頂きました皆さんお疲れ様でした。ご協力ありがとうございました。



除草作業に奮闘する会員

中信シ協役員研修会をオンラインで実施

中信地区シルバ－人材センター連絡協議会は、コロナ禍での感染防止のため、9月17日に5センターをオンラインで結んだ役員研修会を初めて実施しました。

幹事センターの松本地域シルバ－人材センターをライブ発信会場とし、塩尻地域、木曾、北アルプス、安曇野の各会場へ映像を配信して行われました。

最初に県シルバ－人材センター連合会宮下事務局長から、シルバ－が生涯現役社会の一翼を担うためにも会員拡大の必要性がある等の状況説明がありました。

次いで信州大学経法学部の井上信宏教授からは、シルバ－草創期の理念や社会に必要なとされる知識・能力を持つシルバ－人材の活用等についての講演がありました。



オンライン研修風景

安全就業だより

事故多発！ 非常事態宣言を8月11日発令

4月～11月で11件の事故が発生(傷害事故8件、賠償事故2件、交通事故1件)

- ・夏場に事故が多発
- ・入院1ヶ月以上の傷害事故が2件も・・・
- ・事故調査委員会を設置し、現地調査及び聞き取り調査を実施
- ・事故原因と再発防止策を会員へ周知徹底！

- ★仕事に慣れて油断や慢心になっていませんか？
- ★就業前にミーティングでお互いに点検・安全確認はしていますか？
- ★体調管理は万全ですか？

安全パトロール実施



県推進委員とともに就業状況を確認

7月30日午前中に長野県シルバ－人材センター連合会による安全・適正就業パトロールが行われました。当日は、穂高地区の市営住宅追分団地の剪定作業現場の就業状況を確認しました。

県シ連適正就業対策推進委員からは全体的には安全に配慮した就業が行われていたため、特に指摘事項はありませんでした。事故の95%は気のゆるみが原因なので、気を引き締めて安全第一で作業するよう話がありました。

同日の午後は、当センター独自で、安全・適正就業委員を中心としたメンバーでパトロールを実施しました。明科(草刈り)・堀金(草刈り)・三郷(草取り)・豊科(剪定)の4地区を回り、最後に事務所に戻り検討や講評を行いました。

草刈安全講習会開催

7月28日草刈安全講習会を開催しました。今回は、新型コロナウイルス感染症予防対策として対象者を「草刈り作業初心者」とし少数での講習会としました。

当日は明科御宝殿遊水池自然体験交流センター「せせらぎ」及びその周辺を会場に、座学と実技を林業安全管理指導専門家の市川和歳さんに講師にお願いし、19人の会員さんに様々な安全就業に係る情報をいただき有意義な講習会となりました。

今後につきましては、絶対事故をおこさないという意識を持って就業に望んでいただきたいと思います。



講師の話に聞きいる会員の皆さん

新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めましょう！

月刊「シルバ－人材センター」

令和二年十一月号

インタビュー

「人生一〇〇年時代の高齢者

〈生き方・支え方〉から

鎌田 實先生(医師・作家・諏訪中央

病院名誉院長)の言葉を抜粋させて

いただきました。

★コロナ時代に重要な

人とのつながり

★社会貢献がシニアの

健康を支える

★シルバ－人材センターの

仕事の3K(キツイ、汚い、危険)

ではなく、

・きつそつに見えるけど

きつくない

・さまざまな能力を社会に

還元することで「感謝される」

・そして「けっこう格好いい」

シルバ－人材センターはこれ

からも、より大きな役割を担

えるはず！

三密(密閉・密接・密集)

防止に心がけましょう！

令和2年度「安全・適正就業標語」応募作品の紹介 県シ連及び当シルバーで審査し、入選作品は、今後の安全啓発に使われます。	応募者 (敬称略・順不動)
見逃すな ヒヤリ・ハットは事故のもと 皆で話して ゼロ災職場 思いやり 仕事に 仲間にお客さま 共働・共助のシルバーワーク	山田 詔一
今一度 再度確認 身を守る	島田 貴安
お互いの 目配り・気配り 事故なくす	栗幅 照夫
安全呼称 慣れた仕事も 確認次第	栗幅 照夫
安全は ヒヤリ・ハットの 積み重ね	栗幅 照夫
繰り返す チェック・確認 事故防ぐ	鷺 宣子
安全は いつも自分に 言い聞かせ	鷺 宣子
チョット待て 慌てる仕事に 事故が追う	渡辺 弘寿
焦る仕事に 良いことなし 後でトラブル 事故のもと	渡辺 弘寿
これくらいでいいだろうと これくらいで大丈夫だろうは 事故の引き金に	渡辺 弘寿
熟練されたワザを活かして 事故根絶をはかる	日下部 憲
感謝して 働く喜び 事故はなし	日下部 憲
ゆとり持て いつも心に 安全意識	武田 フミ子
あんな事 こんな事と 思う心に 落とし穴	武田 フミ子
足下の 段差に「オット」 ヒヤリかな	矢ノ口 征子
安全は 声かけあって 守られる	矢ノ口 征子
右・左 前を良く見て 仕事して	原田 興亜
注意して その行動に 落とし穴	原田 興亜
大丈夫 過信につながる その心	桑原 謙
体力に 合った仕事で 気軽に楽しく	桑原 謙
足を しっかり上げて 転倒防止	滝澤 實雄
事故は 仕事の始めと終りに 落とし穴	滝澤 實雄
事故は 仕事の始めと終りに 落とし穴	伊藤 英夫

会員が就業中に事故に遭遇したり、巻き込まれる事態が発生しています。安全で適正な就業はみんなの願いです。会員が応募された標語をお読みいただき、意識の高揚を図り、事故の撲滅に役立てましょう！

高齢者活躍人材確保育成事業

「健康体操」と「庭木講座」を開催

シルバ－会員の拡大と技術講習を目的に、県シルバ－人材センター連合会と連携して二つの講座を開催しました。

10月21日豊科ふれあいホールにおいて「60歳からの健康体操」を健康体操指導員 太田泰史先生を講師に20名が受講しました。イスに座って実際に健康運動を覚え、運動の実践で健康な日々を送



60歳からの健康体操

れるからだづくりを教えていただきました。

11月22日豊科北中学校において「庭木の手入れ講座」を豊科造園組合の3名を講師に、またシルバ－剪定班の会員3名を講師補助として、受講者19名に庭木の管理や剪定方法、器具の安全な使い方などを教えていただきました。

センターでは、これらの講座を機会に会員となって就業いただけるよう取り組んでいます

★女性会員を募集します。

少子高齢化社会が進展する中、医療・介護・福祉等新たな職域ニーズの増加が見込まれます。

これから新たな事業の開拓を強化し、女性の活躍する場をつくりたい。知り合いに声をかけていただき、会員拡大に向けた更なるご協力をお願いいたします。

★障子・襖替えができる会員を急募！

現在、障子や襖替えができる会員が不足しており、業務受注に支障をきたしています。

需要ニーズに対応するため、このような技術を持った会員を募集しています。

## 会員の声

## 働く楽しさ仲間へ感謝



三郷 神谷真平

定年退職し趣味の家庭菜園を

しながら残りの人生を過ごしていきたいと思っていた時、シルバー(草刈り班)に入って一緒に仕事をやってみたいかと何度か声をかけて頂き、シルバーに入会しました。

刈払機を使つての作業は初めてのことなので不安はありましたが、先輩の方々の指導の下で作業する事ができ、休憩時間の仲間との会話も楽しく仕事を続ける事ができました。

人と人との和の大切さも改めて感じる事ができ、一人ではできない作業もシルバーの仲間の協力のお陰で作業ができ感謝です。

これからも仲間との繋がりを大切に、健康に気をつけて会員の輪を大きく広げる努力をしていきたいと思えます。

## 入会して感じたこと



堀金 臼井久美子

紹介していた

だいた仕事を始めて、先ず感じたことは、シルバーのお仲間の皆さんが元気だという事です。

定年退職したばかりの自分から見たら皆さん大先輩です。でも皆さん仕事ぶりも会話もとてもエネルギーギッシュです。

仕事の段取りの良さ、手際の良さ、そして技の確かさ、嗚呼、これが長年培ってきた正に仲間の皆さんの財産なのだ、まるで自分のことのように誇らしくさえ感じました。

どの仕事も社会の中では必要不可欠であり、お仲間の皆さんは、そのことに誇りと責任を感じて仕事をしているのだと気づきました。

私も先輩の皆さんに追いつけるよう体を鍛えて仕事に励みたいと思っています。

## 事務局より

## 配分金の確定申告について

令和元年12月から令和2年11月までの1年間(1月振込、12月振込)の配分金支払証明書(派遣会員には源泉徴収票)を1月中旬までにご自宅に郵送します。

所得税法上、配分金収入は「雑所得」に、派遣就業で支払われた賃金は「給与所得」に区分されます。

申告の内容については、収入の種類、合算等により個々に異なるため、申告の際に税務署に相談してください。

## 就業報告書の提出は早めに!

就業後は速やかに就業報告書の提出をお願いします。

締め切りまでに提出されませんと、配分金が1ヶ月遅れますのでよろしくお祈りします。

## 配分金及び派遣給与の振込日

- 1月分は、2月19日(金)
- 2月分は、3月19日(金)
- 3月分は、4月20日(火)
- 4月分は、5月20日(木)
- 5月分は、6月18日(金)
- 6月分は、7月20日(火)

## おくやみ

矢嶋 章二様 令和2年12月

ご逝去を悼み、心よりご冥福をお祈りいたします。

## 編集後記

◆会員の皆さま、明けましておめでとうございます。令和三年を迎え本年もよろしくお祈りいたします。昨年はコロナ禍の中、大きな災害もなく作物も順調に育ちました。本年も安全就業に向けて、ぜひ無事故を願うところです。

◆調査・広報部会を担当して2回目の広報を刊行できました。会報を通じて会員の皆さまの幅広いご意見を頂きながら、充実した内容にしたいと思えます。

◆広報の表紙写真は毎号頭を悩ますところですが、今回はいかがでしたでしょうか。会員の皆さまで良い写真がありましたら、ジャンルを問わず自信作をお寄せください。

◆本年も協働・協助・協愛の精神で、安曇野シルバー人材センターの更なる発展をお祈りいたします。

総務・調査広報部会

田口 一夫、日下部 憲  
青柳 等、小林 和子